



ダビドサナエ号

私が子どもだった頃

長橋 輝明

私は、1946（昭和21）年、横浜市鶴見区の東寺尾というところで生まれました。大道には1，2歳の頃に引っ越してきたようです。住まいは大道小学校の向かいあたりです。まだ小さいときだったので思い出はあまりないのですが、兄たちはここの思い出がたくさんあるようです。昔は弟の面倒見も兄たちの役割の一部というような時代でしたから、弟の私をおんぶしながら遊んでいたようです。でも、おんぶしていると、「かけっこ」や、「おにごっこ」が出来ないので、そういう時は弟の私を木に縛ってから遊んだようです。

現在の住まいの六浦には3歳のころに引っ越ししてきました。遊んだのは裏山が中心だったと記憶しています。「かくれんぼ」や「ぼかんすいらい」などで遊んだことをよく覚えています。その遊びのグループには必ずリーダーいて、遊びやらなにやらを仕切る役割をしていました。

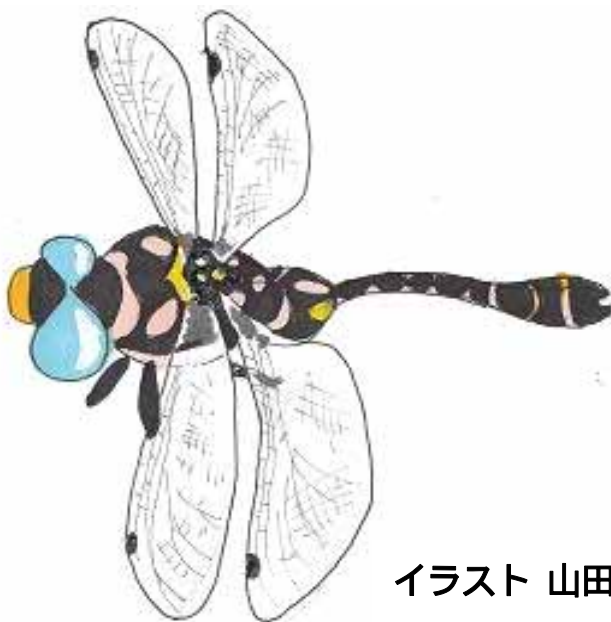


イラスト 山田(陽)

ダビドサナエ

学名 *Davidius nanus*

4月から6月に現れる小さなサナエトンボの仲間。横浜市内では珍しいトンボで、侍従川でも滅多にお目にかかれませんが、2008年12月の定例調査ではコンクリート水路でヤゴ(幼虫)が見つかった。ちなみにダビドという名前の由来は、フランス人の採集家『ダビッド氏』からきている。もしダビッド氏がアメリカ人だったら英語発音でデビッドサナエになっていたのだろうか。こちらでもカッコイイかもしれない。

解説：佐野

「ぼかんすいらい」という遊び、多分「母艦・水雷」からきている名前だと想像されますが、2グループに分かれて、相手を捕まえるようなゲームです（水雷の役割）。基地は目立つ大きな木などが使われます（母艦の役割）。追いかけられた人が基地にもどると相手はその人を捕まえることが出来ないのです。

その当時はみんな、おこづかいなどはもらえる時代ではなかったので、柿、栗など季節の果物をとって食べたりしてました。とりに行く場所やとり方などはグループのリーダーが教えてくれるのです。遊びの場所や相手はいつでも自然でした。遠浅な乙舳（おっとも）海岸の海水浴や潮干狩り、平潟湾での潮干狩りやはぜ釣りも楽しみのひとつでした。この頃の平潟湾では、この湾付近でとれた海苔を干している光景がたくさん見られました。いまではあまり見かけませんね。

乙舳海岸：今は埋め立てられてしまい、埋め立て後は現在の「海の公園」になっています。

小学校高学年の夏はほとんど逗子の海岸で遊んでました。遠泳で、浪子不動から鎧摺（あぶずり）までよく泳いだものです。ここでもリーダーの役割は大きく、まだ泳げないメンバーは、鎧摺の港の出入り口の堤から投げられます。必死に泳いで、自然と泳げるようになる訳です。みんな、自然を相手に、そして仲間とともに遊んでいたのですね。

自然と遊んだりすることによって、自然の大切さも知ります。また、仲間と遊んだりすることによって、仲間にいることの楽しさ・仲間意識、その仲間本意の正義感、自分の欲求があっても時にはがまんや忍耐が必要であったりして、適切に自分をコントロールしながら対人的なスキルを持てるようにということを自然と学んでいたのでしょうね。



都市化が進んだ現在は、自然も遊び場も少なくなってきた、子どものグループそのものが作られなくなっていて、社会的な対人スキルを学ぶ機会も少なくなっています。侍従会では友だちや違う世代のおじさんおばさんたちと一緒に、自然に触れながら楽しく活動をしていきたいと思えますね。すこしでも自然に触れながら対人スキルも学べれば幸いです。

虫のきょういく座談会 ~会報の名前が決まるまで~

参加者：山田陽治、熊井健、佐野真吾

とある休日の夜、サイゼリアに集まった3人は、4月の会報の名前について話し合った。

山田：次回の会報は何号にしようか？ 前回はオナガガモ号で前々回はアキアカネ号だったよねえ～。4月号は何がいいと思う？

熊井：ヤマトクロスジヘビトンボ号はどうですか？ あとはイタドリハムシ号とか！？

佐野：やっぱりマニアックな生き物じゃなきゃダメなんですか？（笑）

山田：ダメだよ！（笑）当たり前じゃないか！（笑）マニアックにいきましょう！！

モンブランケーキを頬張りながら山田氏は熱弁する。

熊井：じゃあモンキマメゲンゴロウ号なんてのは？

山田：モンキマメかぁ！！モンキマメいれどやっぱり4月っていう季節に合う生き物がいなあ。まあ100号くらいまで会報が続けばネタがなくなってモンキマメゲンゴロウ号も作れるかもね まあマニアック度は良し！！

この3人が集まるといつもこのようなマニアックな会話が展開されるのである。

佐野：4月かぁ～。4月っていえば、カワトンボ、テングチョウ、ツマキチョウ・・・

熊井：去年の4月号は何号でしたっけ？

山田：アズマヒキガエル号だよ！あっ！ホソミオツネトンボ号は？

佐野：ホソミオツネトンボは春というより冬のイメージの方が強いですよ。

熊井：確かに！

何が「確かに！」なのか？ 読者の方の多くはそう思われたらろう。ホソミオツネトンボは成虫で冬眠するイトトンボの仲間である。

山田：カワトンボだとメジャーすぎるしなあ～・・・

一般的にカワトンボはメジャーなのだろうか...。気になるところだが、次の瞬間に山田氏は閃いてしまう。

山田：ダビドサナエ号は！？（春を代表する？（笑）サナエトンボの一種。）



熊井、佐野：あぁいいんじゃないですか。そうしましょう。こうして山田氏による突発的な思い付き、いや！素晴らしい名案によって今月の会報の名前が決まったのである。

写真：ダビドサナエ（2007年、朝比奈の森にて佐野撮影）

冬の森たんけん 12月20日(土) 9:00～17:00

於：大道小～朝比奈切通し～十二所果樹園

記)佐野

2008年12月20日、今日は冬の大イベントの一つ「冬のもりたんけん」です。内容は、森で越冬している生き物をさがしたり、ツルや木の実を使ってリースを作ったり、冬の朝比奈の森で楽しいことをたくさん見つけようというものです。このイベントも始めてから3年目になりましたが、今年もたくさんの方が来てくれました。

大道小学校を9時半頃出発し、10時前には朝比奈切通し入口までやってきました。森の入口で去年も森たんけんに参加した子がアリジゴクを見つけました。アリジゴクの穴を見つけたら、「ふうーっ」と息を吹きかけて砂を撒き散らしながら探すと簡単です。前回参加した子たちのマネをしてみんなアリジゴクを見つけられました。アリジゴクを見終わりに、次に向か足をとめたのは「三郎の滝」です。周りの沢ではヒラテテナガエビやヤマトヌマエビ、シマヨシノボリ、ハリガネムシ、ダビドサナエのヤゴ、コオニヤンマのヤゴなどが見つかりました。



アリジゴクをさがせ!



シマヨシノボリ発見!



生き物のお勉強

三郎の滝では採った生き物をみんなをよく観察しました。そして次は少し離れた場所にある雑木林の前で自由行動にしました。生き物を探しに行く子や、竹笛や草笛、オナモミで遊ぶ子、みんな楽しそうでした。生き物はホトケドジョウやヌマエビ、オオミドリシジミの卵が見つけれ、植物で遊んでいた子たちもオナモミを服につけて絵を書いたり、ゲームをしたりして遊びました。40分くらいの自由行動をした後はみんなで頂上の十二所果樹園に向かい、昼食をとりました。昼食後は森で見つけたツルや木の実を使ってリースを作りました。まさに森の宝物ですね。

帰りは毎年森たんけんの目玉である「つるのターザン」に子どもたちは大喜びでした。最後に子どもたちに感想を聞くとみんな「楽しかった!」と言ってくれました。また来年の冬も森をたんけんしましょう。



オナモミでアート(?)



リースづくり



つるでターザン!

《参加していただいた方々の感想》

木の周りで遊んだのが楽しかったです。(明里)

大きな木の下でみつけた、10m以上の細い弦で、色々遊んでとても楽しかったです。
(菜々恵)

今日の活動は、とても楽しかったです。エビを、捕まえたり新しい友達が、できたりして、最高の活動でした。侍従川に親しむ会に入りたいなと思いました。(友里)

一番おもしろかったのは、ターザンロープだった。さいごはおっこちたけど、楽しかったです。ハリガネムシをはじめて見られてよかった。オナモミくっつけバトルも楽しかった。オオミドリシジミのたまごさがしは、見つからなかったけど、楽しかった。
(大地)

ターザンロープがたのしかった。きのぼりしたのもたのしかった。リースづくりもたのしかった。ゆみやもたのしかった。あるいたのがたのしかった。(想太)

天気も良く、歩いているだけでも気持ちの良いウォーキングでしたが、子どもたちと探検ができ、自然の遊びなど貴重な体験ができました。
楽しい企画をいつもありがとうございます。(深沢さん)

今日は楽しく森のたんけんに参加させていただきました。ありがとうございました。

冬の森を探検すると言うことで虫はいないだろうなと思ってましたが、意外にもたくさんの虫が見つかり驚きました。また、見つける方が凄いです!と感心しました。

虫達も茶色のものばかりではなく鮮やかにワンポイントで着飾ったオシャレ者もいて面白かったです。

同じコースを今度は違う季節にまた巡ってみたいです。その時は小学校とコンビニ間はベビーカーを使いたいです。みつのりの絵日記を添付します。

ありがとうございました。(長崎さん)



12月クリーンアップ

【活動報告その2】

12月28日(日)9:00~12:00

於:山王橋~ブックオフ

記)細川

参加者:長野、中山、長橋、西澤、八木場、村田、角田、外川、山田、細川(10名)

今年最後の草刈り・清掃日は寒さが緩み・風も殆ど無い快晴の日となりました。

さすがに12月となると草も殆ど伸びませんので、川のごみ拾いを中心にし、ついでに枯れたススキなどの草を刈り取りながら山王橋から上流に向かいブックオフまで一気に作業を完了しました。

作業終了後、千歳園の倉庫の位置が蟬が地表に出てくる位置にあるので倉庫を移動して欲しいとの要請があり、現在の場所から道路側に5mほど移動しました。

その後、今年最後の作業ということもあり、近くの伊勢福で簡単な飲み会を開き今年一年の作業を振り返って楽しいひと時を過ごし、来年の再会を誓って別れました。



ネイチャークラフト教室 ~つるでかごを作ろう~ 【活動報告その3】

1月24日(土) 9:00~15:30

於: 朝比奈の森~大道小学校コミュニティハウス

記) 河本

総勢19名で、午前中は、朝比奈の森でつる採り、午後からかごを作りました。

全員の作品大公開!!

1番初めの横しんをあむ時、たてしんがしっかりしなくて大変だったけど、きっちりあんでいったら、けっこううまくいったので、うれしかったです。



かごづくりは楽しかった。



1月クリーンアップ

【活動報告その4】

1月25日(日) 9:00~10:30

於：山王橋～二の橋～第二山王橋～大道橋

記) 細川

参加者：長野、中山、長橋、西澤、角田、八木場、斉藤、外川、山田(陽)、山田(隆)、山田(理)、大木(菜)、大木(啓)、米塚、細川(計15名)

2009年最初のクリーンアップの当日は1年の始めにふさわしい晴天となりました。更に、ジュニアの女の子も参加し、久しぶりに参加者15人という大人数での活動となりました。

この寒さで草も伸びませんので、ゴミ拾いを中心に実施しました。

相変わらず空き缶やタバコの吸い殻等が捨てられていました。



トピックス

侍従会で、メールマガジン【びりんご通信】がメール配信されるようになりました。行事が終わってすぐの報告や、侍従川であった出来事をいち早く皆さんにお知らせします(...のつもりです)。

メール配信希望の方は山田(陽) yohji-y@ezweb.ne.jp まで。

不定期に配信されます。本紙【だぼはぜ通信】と合わせてご愛顧くださいませ。

本紙で連載『侍従川生き物図鑑』を執筆している、熊井健さんが沖縄に引っ越すにあたって、送別会が2/20 COCO'Sで行われました(参加者12名)。熊井さん、沖縄でも元気で。



山田(陽)が、3/19 よこはまかわを考える会 定例研究会で講師をつとめる。

テーマは「自然との共生～昔からの知恵をまちづくりに～」で、葦船学校の様子をDVDで鑑賞と、ワークショップ(つるで鍋敷き作り)。

3/16に佐野、成島、山田(陽)で、横須賀市人文・自然博物館を訪問。これから、連携し、いろいろとご指導いただけたらと思います。

葦選別・束づくり

1月31日(土)～2月1日(日)

葦船建造

2月7日(土)～8日(日)

【活動報告その5】

於：大道小学校 記)山田(隆)

今年も葦船の季節がやってきました。そうです。侍従川の汚れをとってくれた葦は、冬には茶色く枯れます。1月から船づくりのための作業は始まるのです。



葦の選別をしています。図工室 1/31



小チョリソを作る。
広げるんだよ 2/7

侍従会の仕事師“助さん”は、休みの日にモクモクと葦を刈り、子どもたちが刈り取りやすいよう葦原に道をつけてくれます。

そして1月下旬の晴れた日、大道小5年生40名が鎌を手にザクッと刈っていく。川から道路へ運び上げ、リヤカーで学校へ。手際よく、作業は2時間あまりで終了しました。

チョリソを束ねる



葦船、完成 2/8
かんばんーい！！



船底でロープ渡し。
これが辛いんだな



7(土), 8(日)は、のべ200人が参加。おとうさん達も大活躍でした。乗船会は4/19(日)の予定です。

2月クリーンアップ

【活動報告その6】

2月22日(日) 9:00~10:30

於：大道東橋～山王橋～大道橋～三信入り口

記) 細川

参加者：長野、西澤、八木場、外川、山田(陽)、米塚、島村、濱田、樋口、金子、
細川(計11名)

千歳園を中心に上流・下流の2班に分かれてゴミ拾いを実施。ゴミ袋8袋分のゴミと傘3個、1m四方のプラスチックボードを回収しました。

また、途中で落ちていたカード(ルミネのクレジットカード、Yカメラのポイントカード等)を大道交番に届け出たところ、盗難届けが出されていたものとの事でした。盗んだ犯人が川に捨てたものと思われます。川の中にはいろいろなものが落ちています。

しかし、2月も末頃になると、木や草の芽が膨らんできていたり、春の兆しがあちこちに見えてきています。



第4回子どもエコフォーラム

【活動報告その7】

2月28日(土) 9:00~15:00

於：青葉区公会堂

記) 竹内

朝8時過ぎ、迷いながらも青葉公会堂に到着。搬入出しやすい場所を確保、さあ！気合を入れて待っていたら、顔見知りの先生が『侍従会エントリーしてないよ。』エッ！そうです。申込みしてなかったのです。侍従会ですがブースくださ～い。何とかブースをもらい設置。

今回は、侍従川(付近)に住む生き物。魚、蛇の生体展示、ツルカゴ、他に写真によるパネル展示、そして葦船。展示準備も終り、ジュニア・学生部を待ちました。

今回はジュニア・学生部は侍従川学芸員、私の代わりに展示に張り付けてもらいました。午後からワークショップですが、午前中からお客さんが切れません、生体展示は凄いです、展示はやっぱり今回も一番！

侍従川学芸員ご苦労様。



第24回となる「よこはまの水辺と緑を考える子ども会議」の実行委員会が、1/12(東京ガス環境エネルギー館)と3/1(横浜市立舞岡中学校)に行われました。

実行委員会のメンバーは主に小学生・中学生で、侍従会からは、学生部の島村眞依、金子英司、金野光流、井上孝介、古寺航揮、鈴木政裕、ジュニアの山田理子&郁絵姉妹にサポーターとして山田隆代、佐野真吾、成島みゆき、鈿持飛翔、山田陽治(敬称略)が参加し、島村さんが実行委員長に選ばれました。また、総合司会には山田姉妹、はじめの言葉と終わりの言葉を井上君、古寺君、金野君、鈴木君が務めることになりました。



今回は、横浜開港150周年にあわせて、150種類の生き物の写真や絵を展示することになり、当日のプログラムの話し合いや看板、冊子作りなど、みんな積極的に取り組んでいました。

第24回よこはまの水辺と緑を考える子ども会議は3/29(日)横浜市立舞岡中学校で行われます。

~バチ抜け~ 学生部抜き打ち調査 part1

2月20日、調査の一環として侍従川でバチ抜け調査をおこないました。

『バチ抜け』とはゴカイやイトメなどの環虫類が産卵のために普段住んでいる水底の穴を抜け出し、一斉に水面に浮きあがるという現象です。しかもそれは凄まじい数で、数万、数十万という数が水面をニョロニョロと漂うそうです。

また、バチ抜けの夜にはゴカイやイトメを食べるためにスズキもたくさん現れ、釣りをすれば簡単に釣れるというので、みんな釣り竿を持って参戦です。寒いなか18時に集合してから調査が長引くこと2時間半。結局その日はバチ抜けもスズキもまったく見られませんでした…。集まった人たちは本当に寒そうでした。また次回再調査をしましょう！



侍従川生き物図鑑 No.5



コミスジ

撮影：熊井 健

(タテハチョウ科)

- ・大きさ：2センチ～3センチ
- ・分 布：侍従川中流～源流域の雑木林など

流域の雑木林で普通に見られる中型のチョウで、4月～10月に見られます。葉などに止まるときは羽を広げて止まるので一見ガの仲間と見間違えられます。幼虫は枯れ葉にうまく擬態していて、食べる時以外はほとんど動かないので、見つけるのは以外と困難です。



羽の裏側は赤茶色



コミスジの幼虫

監修) 熊井

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ~高舟台レッサーパンダ伝説~

侍従川の会には高舟台にお住いの方も大勢いると思いますが、みなさんは高舟台のレッサーパンダ伝説をご存じでしょうか？レッサーパンダといえば、動物園などでは愛くるしい姿からアイドル的存在として有名ですが、今から9年程前、そのレッサーパンダが高舟台で目撃されるという前代未聞な噂が地元で飛び回りました。

2000年4月に大道中学校に入学し、部活も決まりたいが学校生活も慣れてきました。ちなみに僕は陸上部に入りました。元々運動神経が良かったのと、小学校の友達が多く入部したことなどが理由でしたが、自然環境に恵まれた大道中学校は僕にとってトラックフィールド(陸上)ではなく昆虫フィールドでした。皆と走っている途中で虫を見つけると列から外れ「佐野おーまた虫かぁーっ！！」と顧問の先生に怒鳴られたり、バトンパスの練習中はバトンと交互にミニ捕虫網を持っていた覚えがあります。

そんなある日のこと。教室でクラスのちょっとした問題児シガくんが、「佐野君知ってる？高舟台にレッサーパンダがいるんだぜ！」という話をしてきました。「まさか、そんな動物いたら大ニュースになってるよ。」「本当だって！なァカジコ？おまえレッサー見たんだろ？」シガくん同様高舟台小学校出身のカジコは実際にレッサーパンダを目撃したそうです。彼らの話によると、どうやら高舟台ではちょっとした噂になっているようでした。「じゃあ明日の放課後みんなでレッサーを探しに行こう！なァ？タクマお前も来いよ！」凶体と態度はでかくも気の小さいことが早くもバレてしまっているタクマも強制参加になりました。

翌日の放課後、僕とシガくん、カジコ、タクマの4人は大道小学校に集合しました。持ち物は捕獲用網にインスタントカメラ、そしてレッサーパンダは実は凶暴とのことから、侍従会事務局長、長橋さん宅の駄菓子屋で買ったパチンコをそれぞれが持参しました。そしていよいよレッサー搜索隊は高舟台へと出発したのです。高舟台の住宅街から公園、林内、いたるところを僕たちは探し回りました。「いたっ！追え！」という場面も何度かあったもののそのほとんどがノラネコとの勘違いで、暗くなるまで探し



ましたが結局レッサーパンダを見つけることはできませんでした。そして見つけれなかったことを一番悔しがっていたのはシガくんでした。「ホントに高舟にはレッサーいるんだよ。なぁカジコ?」こうしてレッサー探しは終わりました。

しかし、それから8年後。僕は偶然にも高舟台でレッサーパンダの正体をつかむことになったのです。とある夜、高舟台の入口である大道東橋付近でネコにしては大きい動物が歩いているのが目に入りました。「でたっ!アライグマだ!」僕はその動物がすぐアライグマだと分かりました。アライグマは私の住む東朝比奈にも住んでいますし、庭で飼っていた魚が被害を受けたこともあり、それ以来興味をもち地元では目撃地をチェックし、大道や六浦にも住み着いていることを知っていました。

「高舟台にもアライグマいるのかぁ～」と考えているうちに、中学のころ高舟台にレッサーパンダを探しに行った時のことを思い出しました。「あっ!あの頃高舟台で噂になったレッサーパンダはアライグマだったんだ!」私は納得しました。当時はレッサーパンダブームでしたし、中学生がアライグマをレッサーパンダと間違えるのも無理ありません。アライグマは可愛らしい姿とは裏腹に実は凶暴で、多くの飼い主が持て余し野外に逃がしてしまったことから、現在では家の屋根裏に住みついたり、貴重な生物を捕食してしまうなどの被害が報告されています。そのため特定外来生物にも指定され駆除の対象になっているのですが、そんなアライグマが高舟台には2000年以前から住みついていたという話はある意味貴重な記録かもしれません。そして、現在朝比奈や大道、六浦などで目撃されるアライグマはもしかしたら高舟台から繁殖し、広まったものなのかもしれません。

話は戻り、去年同窓会でシガくんと会ってその話をしました。当時問題児だった彼も今では問題児だったとは思えないような好青年です。「そういえば探しに行ったねえ～懐かしいなぁ!そうかあれはアライグマだったのか。佐野くんも相変わらず生き物の研究続いでるねえ!でもまああれがキッカケで侍従会入ることになったんだよね」そうです。彼はあの後侍従会学生部に入ったのです。こうして彼と懐かしい思い出話をしながら、『高舟台レッサーパンダ伝説』に幕を下ろしたのでした。



『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく

2007.11.24 東朝比奈にて撮影



それゆけ

激突！山田くん ~対 動物編~

完全復活！？



「ニホンマムシ」の巻（続き）

学校につくと、待っていたのは給食ではなくて、校長先生と保健の先生だった。校長先生はボクの顔を見るなり「手はどうかね？...うわっ！...すぐ病院に行かなくちゃダメだね」と仰った。ボクは「あ、じゃ給食食べてから...」と言ったのだが、「今すぐ病院！」と、校長先生&保健の先生に言われ、半ば拉致られるように保健の先生の車に乗せられ病院へ...「給食...」と呟くボク(T_T)

しかし、その時は診察が終わって帰ってから給食を食べられればいいのか？と、のんきに思っていた。血清があるのを確認してからN病院に向かう。

病院に着いて...何科に行けばいいのか？と思ったら、皮膚科に行かされた。

皮膚科の医師は開口一番「珍しいですね~。今時マムシに咬まれる人なんていませんよ」その後、その医師の口から衝撃的な発言が...

（続く）

~ヤマアカガエル産卵~ 学生部抜き打ち調査 part2

侍従川流域で春を真っ先に知らせてくれる生きものは何だと思いますか？

正解はヤマアカガエルです（“いや違う”とか言わないでね）。ヤマアカガエルは普段は森の中に棲み、2月の雨の降る暖かい夜に水辺にやってきて産卵します。産卵し終わった後は再び冬眠し、次に会うのは、来年の今頃...



今年の産卵状況を1/31に学生部で調査しました。

大道小学校 田んぼに卵塊が一つ。成体が2匹（うち一匹は死んでいた）

朝比奈小学校 ホタル池に卵塊が15個

大道中学校裏山の畑 水をためてあるところに成体が5匹。卵塊はなし。

2/7の大道小学校の田んぼには卵塊が3個になっていました

ヤマアカガエルの卵は今ではオタマジャクシになっていますよ。

ぜひのぞいてみてください。

侍従川定例調査報告 学生部

12月28日(土) 晴れ

大潮 満潮06:39(176cm)16:39(180cm) 干潮11:26(100cm)23:44(7cm)
参加者：佐野、青木、鈴木、金子、山田(陽) (計5人)

【汐見橋】(下流域) 13:55

気温：10 水温：11 ph：8 塩分濃度：14

生き物：マガキ(多数)、ボラ(多数)、スズキ(1)、ヒドリガモ(31)、オナガガモ(19)、
ホシハジロ(10)、キンクロハジロ(3)

ゴミ：特に見あたらず。

備考：パックテストがないため、CODは測れず。

水深が深いので水の中に入らず目視による調査。

カモ類に近づくと最初は寄ってくる。餌付けされているようだ。



【長島橋】(中流域) 14:39

気温：6 水温：11 ph：8 塩分濃度：0

生き物：ガガンボsp(1)、ハグロトンボ(5)、マルタンヤンマ(1)、ミゾレヌマエビ(20)、
テナガエビ(3)、メダカ(3)、チチブ(2)、ハクセキレイ(2)、カルガモ(6)、
ヒドリガモ(4)

ゴミ：タバコの吸い殻、ビニール袋、

ダンボール、お菓子の包装袋、空き缶

備考：胴長がないため川に入らずにタモ網で採捕。

業者による草刈りが行われていた。中野橋～長島橋でアシと柳は切らない約束だったのが、中流全域を全て刈られていた。



【青木製作所前～地蔵前橋】(上流域) 15:42

気温：9 水温：9.5 ph：8 塩分濃度：0

生き物：ヒルsp(1)、カワニナ(1)、ガガンボsp(9)、シマヨシノボリ(1)、ウキゴリ(17)、
ハクセキレイ(1)

ゴミ：特に見あたらず。

備考：三面コンクリート護岸で生き物はほとんど見られないと思われたが、石がたまつた(8～30cmぐらいの石が10個ぐらい)場所にウキゴリがいた。流れの幅は50cm、水深は5cmぐらいで流れは速い。
午前中に侍従会で、草刈りとゴミ拾いを実施。

【ブックオフ～セブンイレブン】(上流域) 16:12

生き物：ガガンボsp(1)、ダビドサナエ(1)、
カワトンボ(7)、カワゲラsp(1)、
モンカゲロウsp(1)

ゴミ：タバコの吸い殻&空き箱、ビニール袋、
空き缶



備考：お昼に排水口から出た洗剤の泡がまだ残っていた。

三面コンクリート護岸で流れがストレートで速いが、土砂が点々とたまりイネ科植物が茂ったかげに生き物がいた。水棲昆虫は源流から流れてきた模様。

スミウキゴリは5つのコンクリート堰を越えて来た模様。

(うち一つは1m近い落差)

排水口からウキクサが流れ出ていた。個人敷地に池がある可能性。

1月25日(日) 晴れ

大潮 満潮05:29(166cm)16:00(173cm) 干潮 0:39(101cm)23:02(13cm)

参加者：小学生3、中学生1、高校生2、大学生1、大人2(9名)

【汐見橋】(下流域) 13:25

気温：7 水温：10 ph：8 塩分濃度：22

生物：オナガガモ(21)、ヒドリガモ(6)、ホシハジロ(6)、ユリカモメ(1)、カワセミ(1)、
ヒヨドリ(1)

【大道中学校 大道溪谷】（源流域）14:22

気温：6 水温：10 ph：7.5 塩分濃度：0

生物：サカマキガイ(2)、カワニナ(27)、ミズムシ(多数)、カワトンボ(20)、
ヤマサナエ(100ぐらい)、オニヤンマ(1)、コシボソヤンマ(3)、
オオシオカラトンボ(3)、カワゲラsp(3)、
ヤマトクロスジヘビトンボ(1)、
ホトケドジョウ(43)、メダカ(2)

備考：暗渠入り口が落ち葉でふさがれ、流れがほとんどない(1/31に取り去る)。
底質が砂から泥にかわっていた。



【小川アメニティ】（源流域）15:16

気温：8 水温：12 ph：8.5 塩分濃度：0

生物：ハリガネムシsp(1)、ヌマエビ(3)、ガガンボsp(1)、スミウキゴリ(3)、
ヤマトクロスジヘビトンボ(3)

ゴミ：ビニール袋、空き瓶、その他

備考：小川アメニティの橋、木道が撤去されていた。

【朝比奈インターチェンジ横の沢】（源流域）

資材置き場の入り口封鎖のため入れず。

【若水】（源流域）

視察に来ただけで調査は行われず。

備考：木の伐採

細かい枝とかが流れに捨ててあって水面が見えず。



【朝比奈切り通し入り口】（源流域）

生物：ミズムシ、オニヤンマ

この会報は、会のホームページ(http://www.sora-iro.net/~hirose/furusato_jijyu/)から見るすることができます。

2 / 2 2 (日) 晴れ時々曇り

中潮 満潮04:41(156cm) 15:17(157cm) 干潮09:54(99cm) 22:11(24cm)

参加者：濱田、樋口、米塚、金子、島村、佐野、山田(計7人)

【汐見橋】(下流域) 13:55

気温：14 水温：11 ph：8

塩分濃度：16

生物：カキ(多数)、ボラ(3)、シマイサキ?(1)、
トビ(3)、オナガガモ(7)、
ヒドリガモ(17)

ゴミ：自転車、スーパーのレジ袋、チラシ



【大道東橋】(下流域) 14:53

生き物：コイ(49)他、小さい魚(多数)



【長島橋】(下流域) 15:00

気温：11 水温：11 ph：8

塩分濃度：0

生物：ハグロトンボ(4)、コシボソヤンマ(2)、クロスジギンヤンマ(1)、スミウキゴリ(2)
マルタンヤンマ(1)、ユスリカsp(1)、ミズムシ(2)、メダカ(3)、チチブ(17)、

ゴミ：タバコの吸い殻

備考：午前中に川掃除実施



【大道中学校 大道溪谷】(源流域) 16:35

気温：10 水温：10 ph：7.5

塩分濃度：0

生物：シオカラトンボ(3)、オニヤンマ(1)、
ホトケドジョウ(55)、メダカ(7)

ゴミ：ボール

事務局だより

事務局運営委員 長橋

新規会員募集を開始しました。

申込先：事務局 長橋 Tel & Fax 045-781-4042

会の案内・申込書はホームページをご利用下さい。

http://www.sora-iro.net/~hirose/furusato_jijyu/text/JOIN2008.pdf

継続会員

次回の会報、行事案内の時に、会員継続の案内を同封予定です。

このときの継続用の返信はがきで、継続の有無をお知らせ下さい。



4月、5月の活動予定

4 / 18(土) 春の草摘みと野草料理パーティー 9:00 大道小学校集合

4 / 19(日) 葦船乗船会 (大道小学校との共催) 受付 8:40 大道小学校

4 / 26(日) 定例クリーンアップ 9:00 ちとせ園(大道一丁目公園)集合

5 / 24(日) 拡大クリーンアップ 9:00 大道小学校集合

5 / 30(土) 春の森探検 9:00 大道小学校集合

学生部の活動

4 / 4(土) 新入生歓迎遠足to森戸川(葉山町) 9:00 京急「六浦」駅改札口集合

4 / 26(日) 定例調査 13:00 大道小学校集合

5 / 24(日) 定例調査 13:00 大道小学校集合

《お願い》

行事詳細や中止のお知らせなどのスムーズな伝達のために、メーリングリストに登録してください。登録については山田まで yohji-y@ezweb.ne.jp

編集後記

2009年になったと思ったら、もう桜の花が咲き始めています。時の経つのは早いですね。今年も「だぼはぜ通信」をよろしくお願ひします。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局

金沢区六浦5 - 23 - 26

長橋 輝明

TEL&FAX : 781-4042

e-mail : jr-nagahashi@seapple.ice.ne.jp